

## 特定非営利活動法人 授業改革学会の活動について

### 1. はじめに

学校の教育現場において不登校が問題になっています。その理由は様々であります、広汎性発達障がいやいじめ、学習遅延が理由で、授業は受けたい意思があるにも関わらず、教室に入って友達皆と一斉授業を受けると体調に異変が起き、継続して授業を受けることができない児童生徒が義務教育において少なからず存在しています。

そうした児童生徒は授業を受けることさえできたのなら、それ相応の学力が身に付くはずですが。しかし、教師にとって多忙な教育現場では放課後残して特別に学習指導をすることは、時間的にも体力的にも限界があります。そこで、授業を受けたいが、教室に入れないのであれば、授業を撮影したビデオを観ることで学習すれば授業を受けることと同じ効果があるのではないかと考えます。

実際、広汎性発達障がいの疑いがある生徒を対象に、数学の授業の録画DVDを観て学習することを継続させました。その結果、定期テストで、学年平均点以上を取る結果となり、この生徒は、この映像授業の視聴を継続することで3年後、志望校に合格することができました。

本学会設立のきっかけは、このように授業を映像化することにより、不登校児童生徒に学習支援をすることができるのではないかと考えたことです。

一方、「授業の鉄人」を競うコンクールを平成25年1月11日に岐阜市で開きました。コンクールは小中学校の授業を撮影したDVDを募集し、産学官の教育関係者に審査していただきました。こうしたコンクールを行うことで、学校の中だけで行われている授業を、色々な分野の方々にご意見やご指導をいただくことにより、授業映像で授業研究することができ、授業力向上につなげることができました。

前述した教室で授業が受けられない児童生徒への授業提供活動だけでなく、これからの授業の在り方や授業改革を研究推進していく機関として、本特定非営利法人 授業改革学会を設立することとしました。

### 2. 学会員のみなさまへ

授業改革学会会員の活動内容は、学会における映像での授業研究・授業の鉄人コンクールへの出場と参加と運営・広汎性発達障がいの児童生徒への映像による授業支援の3つです。以下の活動への積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

#### 【主な活動内容】

- 日々の授業研究
- 授業改革学会研究大会での研究発表及び参加・運営の協力。
- 授業の鉄人コンクールへの自らの授業出品もしくは、推薦授業出品。
- 授業の鉄人コンクールへの参加・運営の協力。
- 広汎性発達障がいの児童生徒への授業DVD-Rの作成。